

## VI 重点プロジェクト

基本目標である「強い産業力の醸成と躍動する都市づくり～革新と自立～」を達成するために本市が取り組むべき産業振興施策のうち、今後7年間に重点的に取り組むべき以下の事項を「重点プロジェクト」と定め、本市の経営資源を集中的に投入することで、基本目標の実現を目指します。

### 重点プロジェクト1 産業の成長力強化プロジェクト

～「日本に拠点を置きながら世界で活躍する企業が集まる産業都市」の実現～

- ▶ 医療ものづくり都市構想の推進（新規）
- ▶ 産学連携による技術開発の支援（拡大）
- ▶ 中小企業の国際展開支援（拡大）
- ▶ 戦略的企業誘致の推進と産業集積拠点の創出（拡大）

### 重点プロジェクト2 地域の魅力向上プロジェクト

～「豊かで魅力あふれる地域社会」の実現～

- ▶ 地域資源のブランド化の推進（推進）
- ▶ 商業の活性化支援（拡大）

### 重点プロジェクト3 地域経済を担う人づくりプロジェクト

～「誰もがのびのびと働き、活躍できる地域社会」の実現～

- ▶ 関係機関と連携した総合的な創業支援（拡大）
- ▶ さいたま市発 CSR 経営の普及（拡大）
- ▶ 若年期からの産業教育の推進（推進）
- ▶ 子育て世代の人材活用の促進（拡大）

# 1 産業の成長力強化プロジェクト

## ～「日本に拠点を置きながら世界で活躍する企業が集まる産業都市」の実現～

今後、世界的に高齢化が社会問題となることが予想される中、本市では、平成32年に高齢化率が約25%に達するなど急速に高齢化が進行すると見込まれており、「医療、福祉」の事業所はここ数年増加傾向にあります。また、本市は、狭い市域（217.49km<sup>2</sup>）の中に120万を超える人口と4万を超える事業所とが近接する人と企業との距離が近いまちであり、世界のイノベーションを支える優れた基盤技術を有する企業が多数立地しています。交通の利便性にも優れ、新幹線5路線の結節点として東日本各地へのアクセスが容易であり、日本最大の産学集積地である東京にも近接しています。このような特長を生かし、東日本を中心に国内各地と様々な分野で連携しているほか、経済のグローバル化が急速に進む中、海外の産業支援機関とも交流を深めており、広域・国際連携拠点としてのポテンシャルを有しています。

このような状況を踏まえ、高齢化や経済のグローバル化をはじめとする環境変化の中に発生する様々な課題解決を目指すことを念頭に、市内外、国外も含めた研究機関・関係機関と連携しながら、ライフ・サイエンス分野を中心としたイノベーション創出に取り組む企業を重点的に支援します。併せて、良好な操業環境を整備し、研究開発型の企業を本市に積極的に誘致することで産業集積を高めるとともに、中小企業の国際展開を支援します。

産業の成長力強化プロジェクトでは、これらの取組を進め「日本に拠点を置きながら世界で活躍する企業が集まる産業都市」を実現します。

### 【プロジェクトの方向性】

#### ▶ 医療ものづくり都市構想の推進（新規）

- ・新たな医療機器・技術の開発を見据え、市内中小企業、医療機関、学会、大学等研究機関、研究者、支援機関等による「医療ものづくりコミュニティ」を形成します。
- ・専門家を配置するなど支援体制を強化し、ワンストップ相談窓口の整備、ニーズ・シーズの収集や情報発信の強化、医工連携や医療機器メーカ等とのマッチング機会の創出、テーマ別研究会や共同研究体の形成等に取り組むことで、事業機会の創出を支援します。
- ・フィージビリティスタディ※<sup>1</sup>を実施し、事業化の可能性が高い案件に対し、試作開発、認可、製造、販売まで、総合的に支援します。また、試作開発ラボの活用による共同研究体の開発を支援します。

<sup>1</sup> Feasibility Study。事業開始前に、技術的な可能性や採算性など様々な視点から事業の実現可能性について検討する予備調査のこと。

**▶ 産学連携による技術開発の支援（拡大）**

- ・産学連携支援センター埼玉を中心に、市内企業と大学等研究機関とをマッチングすることで、市内企業の研究開発を支援するとともに、国等が実施する競争的研究開発資金の獲得に積極的に取り組みます。
- ・広域連携事業や中小企業の国際展開を支援する中で、市外・国外の大学等研究機関とのマッチングに積極的に取り組みます。
- ・実証実験の機会を提供するなど、市内企業による製品開発の事業化を支援します。

**▶ 中小企業の国際展開支援（拡大）**

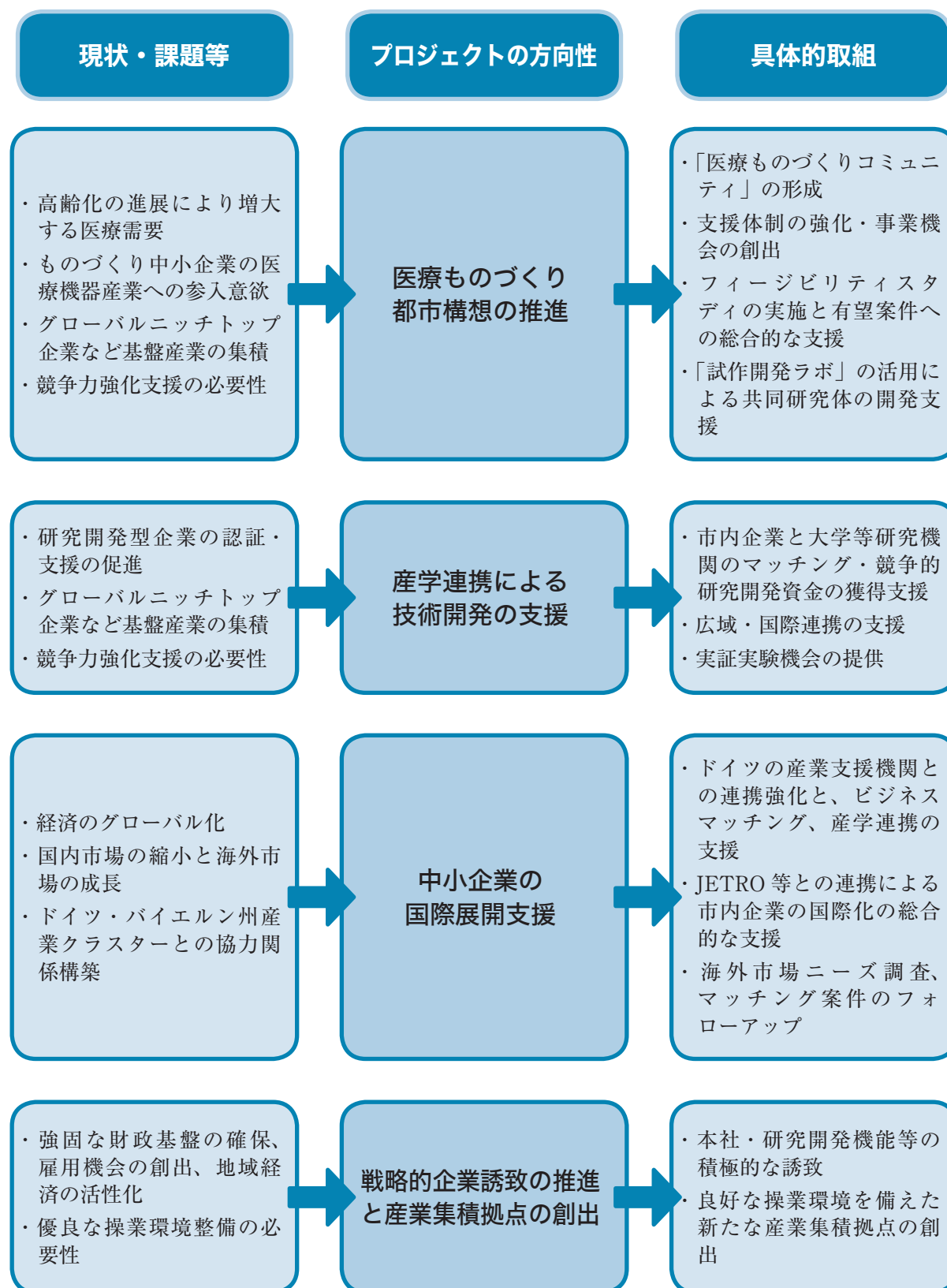
- ・ドイツの産業支援機関との連携体制を強化し、ドイツ・欧州企業とのビジネスマッチングや、研究機関等との産学連携を支援します。
- ・JETROなど外部の専門的機関と連携しながら、ビジネスマッチングや産学連携のコーディネート、グローバル人材の確保・育成など、市内企業の国際化を総合的に支援します。
- ・海外市場でのニーズ調査や、マッチング案件のフォローアップなど、総合的な海外ビジネス支援を行います。

**▶ 戦略的企業誘致の推進と産業集積拠点の創出（拡大）**

- ・ライフ・サイエンス分野や情報通信分野など成長性の高い企業の本社機能・研究開発機能を中心に、積極的な誘致活動を行います。
- ・企業誘致を推進するとともに市内企業の市外への流出を防止するため、良好な操業環境を備えた新たな産業集積拠点を創出します。

## ○ 産業の成長力強化プロジェクト

目標：「日本に拠点を置きながら世界で活躍する企業が集まる産業都市」の実現



## 2 地域の魅力向上プロジェクト

### ～「豊かで魅力あふれる地域社会」の実現～

情報化・グローバル化の進展により国内外の異文化に触れる機会が大幅に増えたため、本市のみならず、国内外において価値観が多様化しています。加えて、ヒト・モノの移動にかかるコストが大幅に低下したことにより、ヒトは、行きたいところに行き、欲しいものを手に入れることが容易になりました。このような中、都市として世界から選ばれるため、あらゆる分野において魅力を向上させる必要性が高まっています。

本市では、これまで農・商・工の分野における産品や製品のブランド化に取り組み、本市産業振興に一定の成果をあげてきました。また、伝統産業である「大宮の盆栽」が国の「JAPAN ブランド育成支援事業」の採択を受けるなど本市の地域資源を生かした取組についても着実に進めてきました。これらの本市が有する地域資源を生かした取組は、都市としての価値を高め、市内だけでなく市外からの誘客効果も期待できることから、地域経済の活性化を図るうえで効果的であり、引き続き積極的に推進していくことが必要です。

また、商店街の活性化に関しては、「商店街個店バリューアップ事業」や「商店街活性化支援事業」等を推進してきましたが、今後高齢化が進行する中で、商店街の地域コミュニティの拠点としての役割が高まると考えられることから、引き続き商店街が行う取組を支援していくことが必要です。

そのため、「地域の魅力向上プロジェクト」では、これまでの取組や成果を踏まえ、以下に掲げる事業に重点的に取り組み、ブランド化等地域資源の価値を高めるとともに、地域商業の活性化を図ることにより、「豊かで魅力あふれる地域社会」を実現します。

#### 【プロジェクトの方向性】

##### ▶ 地域資源のブランド化の推進（推進）

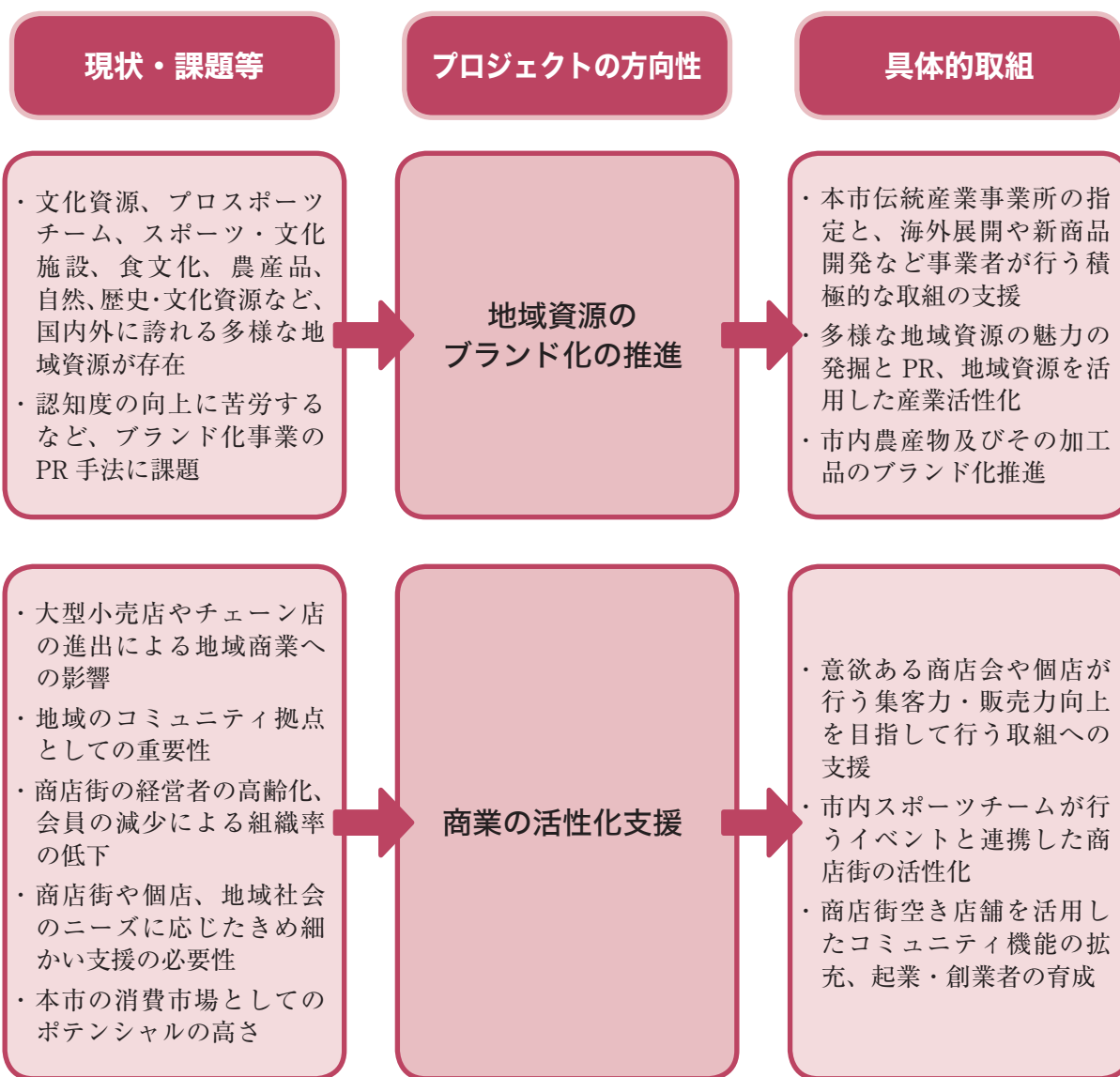
- ・「岩槻の人形」「大宮の盆栽」「浦和のうなぎ」をはじめとする本市伝統産業事業所の指定・支援を行うとともに、海外展開や新商品開発など、事業者が行う積極的な取組を支援します。
- ・プロスポーツチームやスポーツ・文化施設、食文化、農産品、自然、歴史・文化資源など、本市の多様な地域資源の魅力を発掘し、PRするとともに、地域資源を活用して行う産業の活性化を支援します。
- ・市内農産物を利用した加工品や、水稻・野菜・花き・植木のブランド化を推進するなど、市内農産物の付加価値の創造や販路拡大を支援します。

▶ **商業の活性化支援（拡大）**

- ・意欲ある商店会や個店が、それぞれの魅力を生かし、集客力や販売力の向上を目指して行う取組を支援します。
- ・Jリーグチームをはじめとする市内スポーツチームと連携した、市内商店街の活性化を支援します。
- ・商店街の空き店舗を活用し、コミュニティ機能の拡充や、起業・創業者の育成に取り組みます。

○ **地域の魅力向上プロジェクト**

目標：「豊かで魅力あふれる地域社会」の実現



### 3 地域経済を担う人づくりプロジェクト

#### ～「誰もがのびのびと働き、活躍できる社会環境」の実現～

価値観が多様化する現在は、以前のように「有名な学校を卒業し、有名な会社に就職する」ことが必ずしも幸せとは限らない時代であり、誰もが自らが置かれた状況の中でのびのびと働き、活躍できる社会環境を整えることが求められています。誰もが幸せに働くためには、働く場を提供する企業の受入態勢を整えるとともに、市民の側も、働くことへの意識を高め、自分に適した働き方ができるよう努力する必要があります。

本市では、これまで、市内中小企業者に働きやすい職場環境を提供してもらえよう、CSRの普及・推進に取り組むとともに、「“さいたま” あんとれすくーる」をはじめとする産業教育の推進やキャリア・コンサルティング等を実施することで、「職業観」の醸成や就労支援に取り組んでまいりました。今後も、これまでの支援策に積極的に取り組むとともに、多様な働き方を支援するため、子育て世代の就労支援や起業・創業者の発掘・育成に、これまで以上に取り組むことが求められています。

地域経済を担う人づくりプロジェクトでは、これらの取組を総合的に進め「誰もがのびのびと働き、活躍できる社会環境」を実現します。

#### 【プロジェクトの方向性】

##### ▶ 関係機関と連携した総合的な創業支援（拡大）

- ・創業支援セミナーやさいたま市ニュービジネス大賞の開催、さいたまベンチャー社長塾の運営など、創業者の発掘に取り組みます。
- ・創業者コミュニティの形成や運営支援、起業・創業後のフォローアップセミナーを開催するなど、創業後の廃業を減らすよう支援します。
- ・専門家派遣による支援のほか、創業者向け融資の実施、空き店舗を活用した創業の支援、創業者向け家賃補助制度を活用したハンズオン支援など、市内で創業しやすい環境を整備します。
- ・女性の創業支援や、創業者の発掘、創業の支援、創業後の運営支援など、市内での創業を増やすため、他地域の先進事例を調査し、総合的な支援体制を構築します。

##### ▶ さいたま市発 CSR 経営の普及（拡大）

- ・CSR チェックリストやさいたま市 CSR チャレンジ企業認証制度を普及させることで、従業員や地域社会をはじめとする企業等の利害関係者に配慮した経営を行う社会的意識の高い企業を育成し、認証するとともに、認証企業の PR を行います。
- ・CSR チェックリストの内容の充実を図るとともに、本市の CSR チェックリスト及び認証制度の PR を行うことで、さいたま市発 CSR 経営を市外にも向けて発信します。

▶ **若年期からの産業教育の推進（推進）**

- ・小・中学生を対象とした「“さいたま” あんとれすくーる」の開催や「さいたま市少年少女発明クラブ」への支援を通じ、若年期からの起業・職業意識の醸成に取り組みます。
- ・工業高校生にインターンシップやデュアルシステムによる研修を行うことで、就労意識を高めるとともに、即戦力となり得る人材の育成に取り組みます。
- ・大学生・大学院生と市内中小企業の若手研究者との共同研究を支援する「さいたま市研究開発人材高度化タスクフォース事業」により、即戦力人材の育成と、若手研究者の人材育成に取り組みます。

▶ **子育て世代の人材活用の促進（拡大）**

- ・ふるさとハローワークでのキャリア・コンサルティングの実施や、子育てと仕事の両立のための相談窓口の設置、就業体験を通じた再就職支援など、子育て世代求職者を総合的に支援します。
- ・他地域での先進的な事例も参考にしながら、女性の起業者を増やすための支援体制を構築します。



○ 地域経済を担う人づくりプロジェクト

目標：「誰もがのびのびと働き、活躍できる社会環境」の実現

